

2021 年度事務局報告

2021 年度の体制・ネットワーク

【事務局スタッフ】

アルバイトスタッフ：2名（小川：総務、西島：会計、富田：会計（委託））

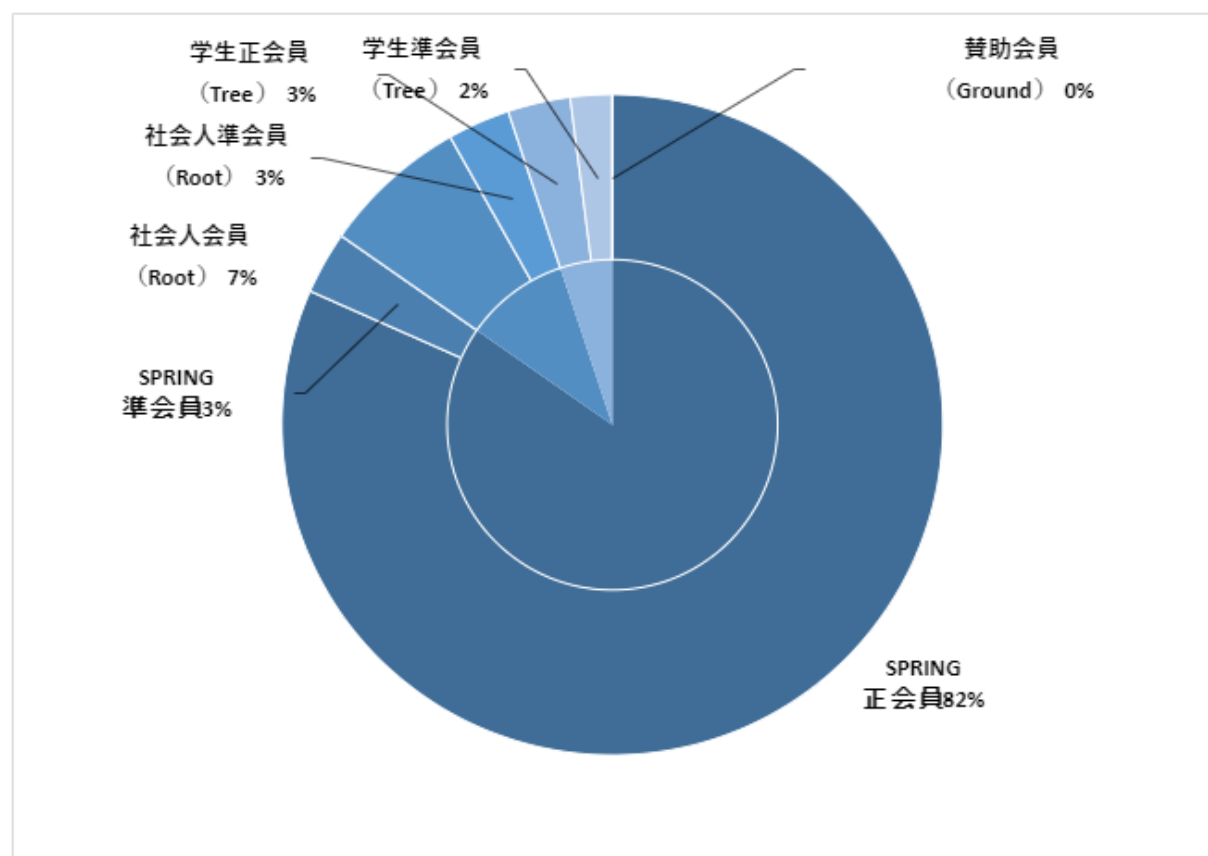
ボランティアスタッフ：2名（Web／広報：長峰・浦山）

【会員】

会員種別	2021 年度	2020 年度
SPRING 正会員	80	88
SPRING 準会員	3	3
社会人 (Root) 正会員	7	10
社会人 (Root) 準会員	3	2
学生 (Tree) 正会員	3	5
学生 (Tree) 準会員	2	6
賛助会員(Ground)	0	0
合計	98	114

昨年度と比べて SPRING 会員は 8 名退会しました。マンスリーサポーターは、昨年よりも 1 名減り、9 名になりました。

(3月31日時点)



【役員】

理事

氏名	所属	担当
濱田恒太郎	会社員	代表/運営統括
三本裕子	日本 NPO センター	組織基盤
大坂紫	会社員	30周年プロジェクト担当
田川 道子	会社員	エコ貯金ラボ担当

監事

矢口拓也	会社員
------	-----

【賛同・協力案件】

3月8日「気候変動対策・施策におけるジェンダー平等の推進を求める声明」賛同

【ネットワーク加盟】

- ・パワーシフトキャンペーン/賛同団体
- ・石炭火力を考える東京湾の会/賛同団体
- ・eシフト/参加団体
- ・グローバル気候マーチ/賛同団体
- ・Fair Finance Guide Japan/協力団体
- ・気候ネットワーク/会員
- ・Japan Youth Platform for Sustainability(JYPS)/加盟団体
- ・消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワーク /参加団体
- ・「持続可能なスポーツイベントを実現する NGO/NPO 連絡会 (SUSPON)」/参加団体
- ・認定 NPO 法人振興会/会員
- ・NGO 非戦ネット/賛同団体
- ・日本 NPO センター/会員
- ・エシカルケータイキャンペーン実行委員会/賛同団体
- ・ドット・ジェイピー/会員
- ・グリーン連合/正会員
- ・SDGs 市民社会ネットワーク/情報会員

2021年度の事務局

■概説

2021年度の事務局は、パートタイムスタッフ1名による体制でした。昨年度に引き続き事務局会議に理事の濱田が参加することにより、事務局と理事会間の情報共有の円滑化を目指し、安定的な運営体制の構築に努めてまいりました。

2020年度は、夏場に業務が集中してしまうなどにより多忙感が続きましたが、スケジュールの調整や優先順位を考慮し、前年よりも改善されました。また、2020年度と比較して、対外的な活動もスタートし始めた1年でありましたが、イベントの運営を理事やコアメンバーを中心に担うことで、事務局としては、大きな影響を受けることなく、運営していくことができました。2022年度以降、助成金の申請等の事業を実施していく可能性が、高くなっており、当該年度に合った事務局体制を、理事会と対話しながら運営していく必要性を、改めて感じております。

活動への関りとして、コラボ勉強会や30周年企画での受付や当日の運営補助業務などを担うことで、微力ながら活動への直接的な補助を行いました。また、プロジェクトの交流会などに参加することで、活動メンバーとコミュニケーションを取ってきました。昔を知るメンバーが減っていく中で、OB的な立場としての役割を果たせていた部分もあったのではないのでしょうか。

■会計業務の運営体制について

2021年度の総会に向けた経理や会計業務に関しては、西島や富田に大部分を担っていただきました。その後、2020年度から会計を担っていた西島が、自身の活動や事業が多忙化してきた為、運営体制を再検討いたしました。日常的な資料作成や会計ソフトへの入力を事務局スタッフの小川が行い、監査及び、総会に向けた資料作成を富田が行う様に、役割を分担し、運営することになりました。

2021年度は、対外的な活動が再開しましたが、助成金等の受託を行うまでには至りませんでした。2022年度は、活動の活発化や助成金の受託を行う計画を立てている中で、昨年よりも、会計業務の業務量は、増加すると予想しています。新しく入職する鈴嶋も含めて、業務の安定的な運営体制を協議し、構築していきたいと思っております。

■事務所移転について

2021年度まで、複数のNPOが所属しているシェアオフィス型の事務所を利用しておりました。その中で、コロナ禍によって使用頻度が低下した団体や、コロナ禍においてオンライン勤務を経験することで、事務所の必要性が薄れ、規模縮小を考える団体が多数見受けられました。実際に、事務所に来所した際の他団体の方とお会いする機会は、大きく減少しました。

2020年度末より議論して参りました事務所移転に関して、協議の結果、移転が決定いたしました。7月より新しい事務所に移転いたします。新しい事務所は、同じ千代田区内になります。

以前よりも、手狭な事務所にはなりますが、ミーティングスペース等以前と同様の機能は、持ち合わせており、活動への影響は、少なく済むのではないのでしょうか。同時に、家賃が減額し、予算を縮小することにも繋がりました。

これを機に、ASJにおいても、事務局スペースの縮小を行っております。過去のイベントやミーティング資料の電子化や物品を処分し、より現状にあった体制に移していけたらと思います。

活動報告

2021年度イベント一覧

2021年4月

- コラボ勉強会 3日 A SEED JAPAN × iPledge コラボ勉強会：第2回「より良い社会を作るための人や社会、環境に配慮した消費行動と森のお話」
 (勉強会参加者：19名(スタッフ含む))
 (参加理事：濱田、三本、大坂)
 (参加メンバー：江口、小川、井上、増尾、内藤)

2021年5月

2021年6月

- コラボ勉強会 9日 A SEED JAPAN × iPledge コラボ勉強会：第3回「日本の森はなぜ使われなくなったの？～日本の地域から見る、森と世界のつながり～」
 (勉強会参加者：23名(スタッフ含む))
 (参加理事：濱田、三本、大坂)
 (参加メンバー：江口、小川、増尾、内藤、佐藤)

2021年7月

2021年8月

- エコ貯金ラボ 22日 クラシックピクニック@二子玉川ライズオーキッドミュージックサロンにてミニレクチャー
 (参加者数：約40名)
 (参加理事：田川)

2021年9月

- チーム横断 11日 連続企画「生きるとは・働くとは」シリーズ 第1回「NPOで働くとは？」
 (参加者数：10名(スタッフ含む))
 (参加理事：濱田)
 (参加メンバー：小川、江口、鈴嶋、佐藤)

2021年10月

- チーム横断 9日 目白大学 講義
 (生徒37名がレポート提出)
 (参加理事：濱田)
 (参加メンバー：鈴嶋)
- チーム横断 24日 A SEED DAY 2021 (同窓会) ～30周年を迎えて～
 (参加者：67名(会場30名(スタッフ含む) オンライン37名))
 (参加理事：濱田、三本、大坂、田川)
 (参加メンバー：鈴嶋、大村、小川)

2021年11月

- ESG ウォッチ 20日 第1回 ESG ウォッチ勉強会「それ、本当に『ESG』？」～正しく ESG 投資するための、ワカモノからの提言～
 (参加者数：12名(スタッフ含む))
 (参加理事：濱田、三本、大坂)
 (参加メンバー：鈴嶋、増尾、内藤、矢野)
- エコ貯金ラボ オンデマンド配信 明治学院大学 講義
 (生徒70名がレポート提出)
 (参加理事：田川)

第1号議案

2021年12月

エコ貯金 オンデマンド NIKOLA TESLA 取材
ラボ 配信 (参加理事：田川)

2022年1月

2022年2月

ESG ウォッチ 13日 第2回 ESG ウォッチ勉強会「ESG ファンドとSDGs・気候変動」～正しく ESG 投資するための、ワカモノからの提言～
(参加者数：12名(スタッフ含む))
(参加理事：濱田、三本、大坂)
(参加メンバー：鈴嶋、増尾、内藤、福田、ウォーカー)

2022年3月

チーム横断 22日 環境・社会(SDGs / ESG)にこだわる生き方・働き方を見つけよう～エコ就職・転職サロン vol.1～
(勉強会参加者：10名(スタッフ含む))
(参加理事：三本、濱田、大坂)
(参加メンバー：鈴嶋、内藤、ウォーカー)

報道採録

チーム横断 7月1日 ガクチカ「【新しいことに挑戦したい!】様々なジャンルの団体運営者の方に魅力を語っていただきました」
エコ貯金 12月23日 Af オリジナル連載 “L'Amant (ラマン)” ～あなたは地球を愛していますか?～
ラボ

2021年度活動評価

【総括】

2021年度は今後の運営方針を考え直し、再生にむけて一丸となって一步を踏み出した1年となりました。総会ではOGOBの皆さまとの率直な意見交換もさせていただき、感謝を込めた30周年A SEED DAYを実施することができました。新しいプロジェクト立案に弾み加わり、コアメンバーや学生メンバーが飛躍的に増えました。2020年度から実施していたコラボ勉強会に加え、OGOBの人財を活かした新企画にも挑戦しました。理事会内の作業部会を隔週で実施し、事務局が安定して業務を遂行することによって長期的な課題改善にむけた意思統一が行われました。新しい仲間を迎えて本格的に活動を展開する体制を整え、2022年度の挑戦を語るができる1年となりました。

【アクセスラボ】

<プロジェクト概要>

- ①課題文献を読んで感想や内容をまとめて発表したり、他のメンバーと議論・意見交換をすることを通して、1人1人の興味・問題関心を掘り下げる。
- ②アクセスラボでの活動を通して、知見を深め、他のキャンペーン、プロジェクトメンバーになるメンバーが出る。
- ③扱うテーマに関連して、金融、企業、NGOの提言の実際の動向を調査して、文章にまとめて、ブログなどに掲載する。

【Key Results】①

- ①自分で調べて面白いと思ったことや興味深いと思ったことがどんなことだったか、文章にまとめて毎回の活動報告として活動メンバーに共有する。

<評価>

課題図書を決めた範囲を読んできて、感想やわからなかったことについて意見交換をしました。当初は複数名での場を想定していましたが、参加可能な時間帯やオリエンに参加する時期がまちまちだったため、1対1での実施となりました。活動報告として活動メンバーに共有するという当初の計画は、実施に至りませんでした。1名での運営だったためプロジェクトの動きとの兼ね合い等で、アクセスラボは前期までの実施として、後期からはオリエン後はプロジェクトのMTGや勉強会へお誘いするという方針に変更しました。

課題図書『現代社会はどこに向かうのか(見田宗介著)』
『現代という時代の気質(エリックフォッファ)』etc

【Key Results】②

- ②深めた知見を生かして、活動の場を広げ、キャンペーンやプロジェクトで活動するメンバーが5名出る。そして、ASJの運営や活動リーダーになるメンバーが3名出る。

<評価>

達成することができました。オリエンテーションとアクセスラボを通して、7名(高校生1名、大学生3名、社会人3名)がプロジェクトに参加するに至り、その中でプロジェクトのコアメンバーとして活動するメンバーが3名生まれました。

【Key Results】③

- ③発信者として、対外的に毎月1～2回発信する。

<評価>

ESGウオッチプロジェクトで活動するメンバーとして、勉強会告知など頻度は時期によりましたが、Instagramでの発信を行いました。勉強会でのInstagramでアンケートも実施するなど、A SEED JAPANとしては初めての試みを行いました。

- ・担当理事: はまこー
- ・参加メンバー: さとうー、ガリレオ、かほ、かつ

【コラボ勉強会】

＜プロジェクト概要＞

- 1 第1回から第4回を実施する。
- 2 第5回以降の企画案を考えて、実行する。
- 3 スピンオフ企画として、スタディーツアーの企画実施(天然住宅、小川町、京都丹後etc)をする。

【Key Results】①

- ①全4回で参加者50名(のべ人数)を目指す。新規メンバーを4名獲得する。

【Key Results】②

- ②各回の参加申込12名を目標として、参加者100名(のべ人数)を目指す。

＜評価＞

昨年度から計画していた全4回のうち、今年度の実施は2回(第2回、第3回)となりましたが、1回あたりの参加申し込みの目標は概ね達成することができました。2回の勉強会で、26名(11名:第2回、15名:第3回)の方にご参加いただきました。参加者は、学生と社会人が6対4の比率でした。

【Key Results】③

- 3 スピンオフ企画として、スタディーツアーの企画実施(天然住宅、小川町、京都丹後etc)をする。

＜評価＞

スタディーツアーの実施は行うことができませんでした。

- ・担当理事: はまこー
- ・参加メンバー: さとつち、いっちゃん、えぐっちゃん、さとうー、あかつき、カンタ

【エコ貯金ラボ(名称変更の可能性あり)】

<プロジェクト概要>

- ①ウェブサイトの作成
- ②Facebookアカウント作成と投稿
- ③啓発活動(プチセミナー開催・イベント登壇等)

【Key Results】①

- ①ウェブサイトの作成

<評価>

社会に優しいお金の使い方について情報発信をするWEBサイト、“Eco Life Guide”を作成しました。より良いお金の流れを作るにはどうすればいいかについての4つの方法や、ライフプランの基本などの情報をまとめて紹介しています。コラムの定期的な更新が課題です。

【Key Results】②

- ②Facebookアカウント作成と投稿
 - ・下記に関連して、週1回程度投稿
 - ・社会問題(問題提起)・資産形成(将来に備える)・エコな話題(気軽な話題)→フォロワー50名
- ・Twitterアカウント作成、投稿

<評価>

定期的なツイートは続けているものの、フォロワー獲得数が伸びていません。フォロワー獲得に向けた基本的なスキル習得と、ホームページ更新を中心に行い、情報発信手段としてTwitterを活用できるよう運営していきたいと思います。

- ・Twitter 47ツイート(2021.8～) ・Facebook 15フォロワー(3/13時点)

【Key Results】③

- ③啓発活動(プチセミナー開催・イベント登壇等)
 - ・下記に関して、プチセミナー3か月に1回開催。
 - ・お金と社会問題のつながり・資産形成の基本・社会的金融の考え方 ※各回5名程度目指す
- ・イベント登壇 ・年度後半、明治学院大学講義担当予定

<評価>

・セミナーは開催に至りませんでした。企画側の問題で、時間的な制約とアイデアを形にすることができませんでした。

・明治学院大学オンライン講義は、オンデマンドで1コマ実施しました。約70名の学生が受講。銀行などに預けたお金のその先を初めて考えた学生が多く、大変貴重な機会になったとの感想を頂きました。

・二子玉川で行われたクラシックピクニックにて、SDGsについてミニレクチャーを実施しました。約40名参加(うち約15名子ども)に、生活するにあたって環境や社会について考えることの大切さを説明し、参加した母親から「子どもはSDGsの大切を理解した様子だった」と声を頂きました。

・動画キュレーションサイト“Af(エーエフ)にて、ASJやお金と環境問題のつながりについて説明した。

- ・担当理事:みっちゃん
- ・参加メンバー:おーちゃん、ゆかりん、キャサリン、てら

【30周年プロジェクト】

<プロジェクト概要>

- ① 9月に30周年記念イベントをオンラインで開催する。
- 2 30周年記念アイテムを作成する。
- 3 OBOGとのコンタクトを通じて、若者のサポート資源となるアシードネットワークを再構築する

【Key Results】①

- ①A) アシードの30年の歴史を振り返りながら社会に何らかの問題提起を行うフォーラムを開催し、合計で50人以上の参加を目指す。
- B) エコ貯金プロジェクトの歴史を年表的に再整理し、記録に残す。
- C) オンラインでの対外イベントのノウハウ・対応力を身に着ける。"

<評価>

アシードデイを開催し、ハイブリッドで、会場参加30名、オンライン参加37名、合わせて67名のOGOBに参加いただくことができました。また、当日都合が合わなかったOGOBからも多数メッセージをいただき、今後の活動資源・アシーダー交流のきっかけとして、アシード名鑑を作成し、電子配布しました。参加費はカンパ制とし、多くの寄付をいただきました。アシードデイでは、ハイブリッド開催のため、設営リハーサルやオンライン担当を設置して、イベント開催スキル・ノウハウを蓄積しました。

【Key Results】②

- ②A) MTGや活動に使えるアシードLINEスタンプを制作して、30人以上のダウンロードを実現し、アシード愛を深める。
- B) アクショントレンド用語集を作成して、OBOGの復帰や新メンバーのキャッチアップに貢献する。
- C) 実行委員のアイデア・人脈を生かして、思い出になるリアルなグッズを制作する。

<評価>

実行委員のOGOBに大変支えられ、イベントを開催することができました。リアルなグッズは構想だけになってしまいました。アシードデイを契機としたOGOBとの交流復活はあるものの、現役復帰に直接はつなげられていません。

【Key Results】③

- ③A) FBグループの理事以外の投稿を月5件以上にする。
- B) OBOG40人以上(うち海外等遠方10人以上)の近況をメンバーが共有出来ているようになる。
- C) 会員復活10人、活動復帰10人を目指す。

<評価>

・FBグループの投稿活性化はできておらず、理事からの投稿のみになっています。
・slackへのOGOBの参加はあるものの、発信を促せていません。

・担当理事: ゆかりん

・参加メンバー: 実行委員会立ち上げ(はま一、はるちゃん、さっちゃん、いっちゃん、みつもと、はまこー、かつ)